



島田市の教育

「平成31年度全国学力・学習状況調査」からみえる島田市の子供

1 調査の概要

◇目的

- ・児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、授業改善を図る。
- ・本調査の結果を子供への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇実施日 平成31年4月18日(木)

◇実施対象 島田市内全ての小学校6年生と中学校3年生

◇調査内容

・教科調査(小学校→国語・算数)(中学校→国語・数学・英語)

・生活習慣や学習環境等に関する質問紙

※昨年度までは、国語、算数・数学の問題はA・Bの2種類の問題があったが、今年度は1種類の問題になった。

2 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査結果

＜調査結果(平均正答率)を領域別にまとめた。＞

＜平均正答率＞

全設問における正答数の割合を算出した値(個人の正答率)を足し合わせ、子供の人数で割った値

＜記号の見方＞ 全国平均正答率と比べて

◎：+3ポイント以上

○：～+3ポイントまで

□：同じ

△：～-3ポイントまで

▲：-3ポイント以下



国語

小学校は、全国に比べて高い正答率の領域もあったが、全体としては全国と比べやや低い正答率となった。中学校は全体として、全国と比べ高い正答率となった。

学校種	全体	領域別			
		話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
小学校	△	△	△	○	▲
中学校	○	○	○	△	△

小学校 ☆成果 ★課題

☆目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかいたり、文や文章全体を概観して効果的に読んだりする力がついている。

★目的や意図に応じて自分の考えや理由を明確にし、まとめて書くことに課題が見られた。

★漢字や接続語、ことわざを正しく使う力をつける必要がある。

中学校 ☆成果 ★課題

☆話し合いの話題や方向を捉える力がついている。

☆伝えたい事柄について根拠を明確にして書いたり、文章を読み返して論の展開にふさわしい語句や文章の使い方を検討したりする力がついている。

★文章の展開に即して情報を整理し内容を捉えたり、文章の内容や構成等について根拠を明確にして自分の考えをもったりすることに課題が見られました。

算数・数学

小学校は全国と比べて低い正答率となった。中学校は全国に比べて高い正答率の領域もあったが、全体としてはやや低い正答率だった。

学校種	全体	領域別			
		数と計算	量と測定	図形	数量関係
小学校	△	▲	△	△	△
	全体	数と式	図形	関数	資料の活用
中学校	△	○	○	▲	△

小学校 ☆成果 ★課題

- ☆棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取る力がついている。
- ★加法と乗法が混合した整数と小数の計算の力をつける必要がある。
- ★計算に関して成り立つ性質を見出し、表現する力をつける必要がある。

中学校 ☆成果 ★課題

- ☆四則計算や連立二元一次方程式を解く力がついている。
- ★資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現で説明することに課題が見られた。
- ★関数において、グラフや表を解釈したり問題解決の方法を説明したりする力をつける必要がある。

英語

全体としては、全国と比べ高い正答率となった。「書くこと」の領域は、全国に比べて正答率が高かった。

学校種	全体	領域別			
		聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
中学校	○	△		△	◎

※「話すこと」の領域は、平均正答率が出されていません。

- ☆語と語のつながりに気をつけて肯定文、否定文、疑問文等を書く力がついている。
- ★まとまりのある文章を読んで、話のあらすじや大切な部分を理解することに課題が見られた。

(2) 児童・生徒質問紙に関する調査結果からわかること

よい傾向

- ☆自分にはよいところがある。
- ☆最後までやり遂げてうれしかった経験がある。
- ☆いじめは、どんな理由があってもいけない。
- ☆今住んでいる地域の行事に参加している。
- ☆先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
- ☆人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ☆みんなで話し合って決めたことに協力して取り組み、うれしかったことがある。

力を入れたい

- ★（小学校）国語が好き。
- ★（中学校）数学が好き。
- ★新聞を読む。
- ★読書をする。
- ★家で自分で計画を立てて勉強する。
- ★地域や社会をよくするために何をすべきか考える。
- ★自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表する。

(3) 学校質問紙に関する調査結果からわかること

授業について

引き続き次の3点を意識して、子供が学びを実感できるような授業を目指す。

- ・目標（めあて・ねらい）をはっきり示す。
- ・課題解決のための話し合い活動を取り入れる。
- ・授業の最後に、子ども自身が、何を学んだのかを理解できる振り返りの時間を確実に設定する。

教育活動全体について

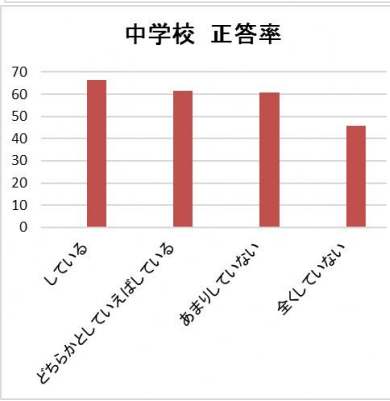
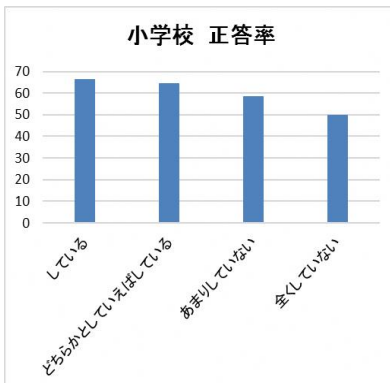
地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会を多くしていく。

※各小中学校から「学力向上へ向けた学校の取組」を、各学校の実態を踏まえて具体的にお知らせする。島田市の子供に、確かな学力が身につけられるように今後も努力する。

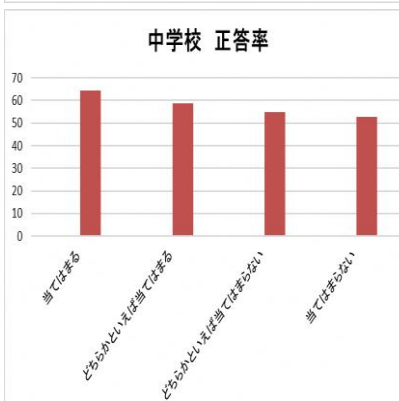
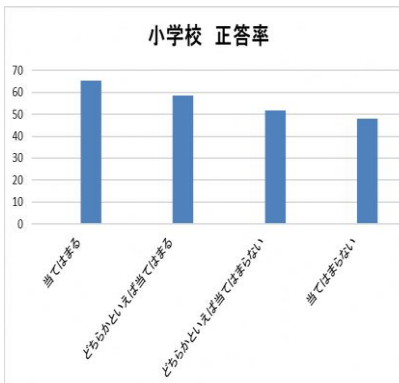
3 保護者のみなさまへ

昨年度と同様に、家の人と学校での出来事について話すことがある子供の方が、平均正答率が高くなる傾向が見られます。また、ものごとを最後までやり遂げてうれしかった体験がある子供や自分で計画を立てて勉強することを身につけている子供も、平均正答率が高くなる傾向が見られます。

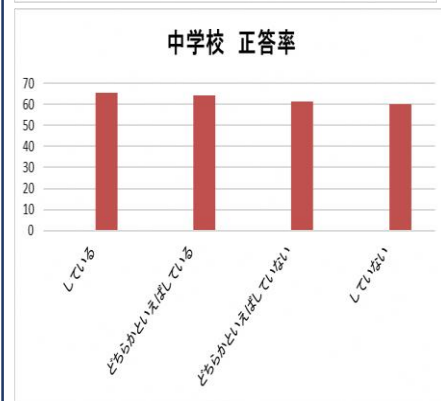
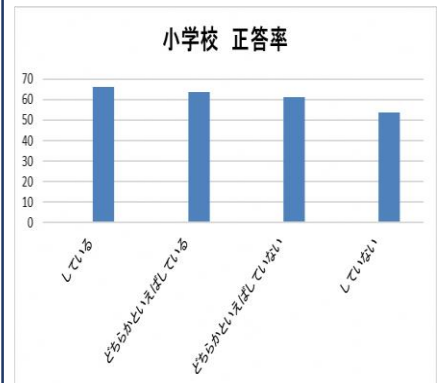
「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」平均正答率との関係



「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」平均正答率との関係



「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」平均正答率との関係



- ◇ものごとを最後までやり抜く体験ができるように、子供の活動を見守りながら、励ましたり認めたりしていきましょう。
- ◇日頃から、学校での出来事や子供の夢や将来等について話す機会をつくりましょう。
- ◇家庭学習では、教科書やノート等を使って、授業で学んだことを復習したり、予習をしたりする習慣をつけましょう。
- ◇「ほめて伸ばす」「認めて伸ばす」ことを心掛けて、子供たちを励ましていきましょう。